

平成24年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【事後評価】

	研究課題名	コメント
1	高齢者の居住安定化にむけたコミュニティデザインに関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とのワークショップにスーパーマーケットなどの意見を加えたとお良かった。 ・住民が何のためにコミュニティを必要としているのかという視点も大切。 ・地域包括ケアシステムとの関連づけも期待したい。
2	ユニバーサル社会の実現に向けた環境整備に関する研究-小規模購買施設における利用者を理解したバリアフリー整備手法の提案-	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者や専門家だけではなく住民等の利用者の視点も重要である。 ・身近で重要な問題である。
3	福祉のまちづくりの面的な展開に関する研究-共同駐車場を活用したまちづくりの研究-	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者や施設管理者だけではなく住民・来訪者等の視点も重要である。
4	高齢者や障害者に配慮した公共交通機関に関する調査研究-高齢者・障害者のバス乗降とバス停評価に関する調査研究-	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすだけでなくバスの手すりの位置等も検討することが望まれる。
5	高齢者・障害者の地域居住支援に向けた地域公共交通に関する調査研究-高齢者・障害者のモビリティデータからみた評価の提案-	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的との関係性が重要である。
6	撮取嚙下りハ支援機器に関する研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ・製品化に結びついており、有意義な研究である。 ・臨床現場への普及に期待がもてる。
7	筋電義手練習支援システムに関する研究-ポータブル型練習補助デバイスの開発-	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくり研究所でしか行えない研究である。 ・現場のニーズが高く、有意義である。 ・啓発が今後の課題と考えるが、自由度が改善したことは大きい。
8	変形性関節症者を対象とした異常歩行の定量的評価手法の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・今後どう普及させるかが課題である。 ・エビデンスに結びつけられており、有意義である。 ・対象者に対しても明確な指標として提示できることが望まれる。
9	脳卒中片麻痺者の三次元歩行シミュレーションに関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・現場のニーズにあったものであり、有意義である。 ・対象者に対する活用が期待される。
10	在宅支援福祉用具・福祉機器のニーズに関する調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの定義を明確に整理するとよい。 ・直接的にニーズの把握・分析に取り組んでおり評価できる。